

会 議 要 旨 (全文録)

| | |
|------------------------------|--|
| 会議の名称 | 印西地区環境整備事業組合 印西地区ごみ処理基本計画検討委員会 第7回会議 |
| 開催日時 | 平成31年1月20日(日)午後2時00分開会 |
| 開催場所 | 印西地区環境整備事業組合 3階 大会議室 |
| 議長(委員長) 氏名 | 大迫 政浩 (国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長) |
| 出席者(委員) 氏名(人数) 敬略称、順不同 | 鬼沢 良子 (NPO法人 持続可能な社会を作る元気ネット事務局長) 津島 孝彦 (一般公募) 小熊 清 (一般公募) 五十君 みつる (一般公募) 大家 茂樹 (一般公募) 田沼 育男 (一般公募) 鹿目 修 (印西市廃棄物減量等推進審議会委員) 藤田 均 (白井市廃棄物減量等推進審議会委員) 花安 利章 (印西市立本埜中学校 校長) 榛沢 宏一 (白井市立白井第1小学校 校長) 鳥羽 英之 (栄町立布鎌小学校 校長) 船越 勝行 (日本食研ホールディングス(株)千葉総務部 次長) 平林 繁 (株平林 代表取締役会長) 計13名 |
| 欠席者(委員) 氏名(人数) | 福本 朋子 (栄町廃棄物減量等推進員) 川井 大海 (イオンリテール(株)千葉ニュータウン店人事総務課 課長) 計2名 |
| 事務局の出席者 | 印西地区環境整備事業組合(印西クリーンセンター) 高橋 清(事務局長)、小川 和弘(工場長)、土佐 光雄(副参事) 長沼 徳雄(主幹)、岩井 久(副主幹)、大野 喜弘(副主幹) 組合関係市町 板倉 浩(印西市 係長)、金森 隆(白井市 主査)、 大村 俊之(栄町 課長補佐) コンサルタント 株式会社日本環境工学設計事務所(2名) |

| 発言者 | 内容 |
|------------------|---|
| 次第1 開会 | |
| 事務局 | 資料の確認 |
| 次第2 委員長挨拶 | |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。印西地区環境整備事業組合附属機関条例施行規則第2条に従い、大迫委員長に議長をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p> |
| 次第3 議事 | |
| 委員長 | <p>それでは、検討委員会の方を進めて行きたいと思います。まず、議事録署名人を指名したいと思います。本日の議事録署名人は平林委員と船越委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。それでは、議題のほうに入りたいと思います。前回、最終的な提案をつくって、パブリックコメントにかけさせていただきました。</p> <p>それでは議題(1)パブリックコメントの結果につきまして、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | パブリックコメント4件について説明 |
| 委員長 | パブリックコメントを4件いただいたものに対する対応ということで説明をしていただき、4番のマイクロプラスチックに関する指摘に関しては、「この計画(案)の中で反映させた。」と、いうことでした。何か質問や意見等ありますか。 |
| 藤田委員 | 1番の中の意見への対応の中で「維持管理コストの問題から対応する自治体は、減少傾向となっています。」と、ありますが、これは採用している自治体がどのぐらいあって、その中でどのぐらい減少しているのかというのが解れば比較しやすいかなと思います。もし、すぐに解らなければ、メール等でご回答いただけますか。 |
| 委員長 | 環境省が出している統計に、溶融方式やストーカ方式の統計の推移があるので、後ほどメール等でご提供していただければと思います。90年代後半から2000年代の初めにかけて、環境省が灰溶融方式をセットにしたものに関して、ダイオキシン対策にもつながるといこと。それから、処分場の削減にもつながるといこと、補助金を出して推進していたのですが、結構故障が多く、安定性にも欠ける部分が当初あり、結果的に維持管理コストの問題から、灰溶融設備をつけたところも途中で止めている場所もある状況です。国のほうも、補助金に関しては灰溶融ありきでなく、ストーカ単独でも構わないという形で転換しており、現在は、ストーカ式を採用する場合は、灰溶融方式は付けないのが一般的に多く、それは統計でも出ていると思います。 |
| 事務局 | 後日メールで送らせていただきます。 |

| | |
|------------|---|
| <p>委員長</p> | <p>もう少しパブリックコメントでいろいろな意見が出てくるかと、思っていたのですが、それだけ内容的にも、しっかりした内容という理解で良いのかもしれませんが。では、パブリックコメントのほうの対応はこれで了解していただいたと思います。</p> <p>それでは、前回の検討会でもいろいろな意見があり、細かい補足等も含めて、チェックを行い、最終的な基本計画（案）を示していただいております。</p> <p>そこで、議題（２）のごみ処理基本計画について、修正点を中心に説明をしていただき、最終確認していきたいと思います。事務局より説明を、お願いします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>前回検討委員会からの変更点の説明</p> |
| <p>委員長</p> | <p>パブリックコメントと、かなり早い段階から基本計画（案）に関して見ていただき、追加の意見等もありましたが、これまで何度も議論して、何回も確認していますので、基本的に内容の大事なところに関しては、了解されていると理解しています。文言等で、確認できていない部分もあると思うので事務局で再度チェックし、確認していただきたいと思います。</p> <p>今から検討委員の皆さんに意見や質問をいただきたいと思いますが、この基本計画に基づいて減量化・資源化の取組を実施するにあたり、検討委員の皆さんの意見も踏まえ、今回策定した基本計画を実効性のあるものにしていけるよう組合や構成市町は、参考にしていただければと思います。そういうことも含めて、意見、質問をいただければと思います。</p> <p>それでは、今説明があったことについて、何か質問、意見はありますか。</p> <p>では、検討委員の皆さんに考えて頂いているうちに、私から、98 ページの次期中間処理施設の整備事業に関して、98 ページでプラスチック製容器包装の取扱いの記載があります。今、国や世界的レベルで、プラスチック問題というのは大きく動いています。</p> <p>今、国で行われているプラスチック資源循環戦略委員会の取りまとめでは、プラスチック容器包装は、マテリアルリサイクル重視なので、基本計画（案）では、これまでどおり分別して資源化していくという方向で、数値等も試算していますが、この中間処理のいろいろな計画の方向性の中で、サーマルリサイクルに関しても、ある程度想定をしておくという話もありました。</p> <p>そういうことも想定して、98 ページには「サーマルリサイクルを実施する場合は、」ということも書いてございます。そのさいに、1,550 トンで処理量を見込んでいますが、リサイクルが進んだり、プラスチック製品が紙製品に転換されることが国の大きな方向性ですので、「減少するのではないか。」ということが想定されます。そういったことも踏まえて、サーマルリサイクルに移行したとしても、施設規模の中にある程度飲込める可能性もあるのではないかとということで取りまとめをしています。</p> <p>ただし、将来的にどのような方向性に行くのかというのは、なかなか読めないもので、施設整備のときに「エネルギー活用」ということも念頭におき、「ごみ排</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>出量の減少」ということも踏まえながら、施設規模に関しては必要に応じて、今後いろいろと検討する機会を持つという方針で行くべきだと、現時点では私も思っていますので修正の必要はないのですが、今後の補足的な課題として、議事録に残しておいた方が良いと思います。そういうところも含めて、ほかに何かご意見はありますか。</p> |
| 鹿目委員 | <p>パブリックコメントにも出てきたと思うのですが、マイクロプラスチックみたいなプラスチックごみの環境破壊問題を、もう少し、この計画書の中で文言を増やしたほうが良いのではないかなと思いました。</p> <p>基本方針に書かれているのですが、これを補填する意味で、94 ページの「資源化の仕組みについて考えよう」に、もう少し文言を追加した方が良いと思います。例えば、「プラスチックごみの海洋汚染に伴う生態系への影響が世界的な問題となっています。これはプラスチックの便利な使い捨てがもたらした結果なので、消費サイクルを見直す必要があります。プラスチックごみの拡散を防ぐには、レジ袋などを使わないなどの発生抑制の行動を起こすとともに、分解しやすい素材への変換などが必要となると思います。</p> <p>また、輸出の変化、中国の資源ごみの輸入禁止などにより、国がさらなるプラスチック資源循環について懸念しています。自治体としては、これを注視するとともに、さらなる効果的、効率的なプラスチックリサイクル、資源化を促進したいと思います。」など、これは長いので凝縮したような形で文言を追加したらどうかと思います。そういう趣旨の文言を入れたほうが、パブリックコメントでも「どう思っているの」という形で投げかけていますので、自治体としてや計画としても重々認識しておりますが、「それについて、こういう考えを持っています。」というような文言を入れたほうが良いのではないかなと思います。</p> |
| 委員長 | <p>鹿目さんの意見に関して、今言った主旨のとおりだと思います。今後、事務局で文言のチェックは行いますので、チェック作業の中で何かキーワード等を入れるところがあれば対応していただきたいと思います。あとは、このマイクロプラスチックも含めたプラスチック問題に関しては、今後の一番重要な課題としての認識は皆さんで共有されていますので、それを実施する段階で施策等も検討していただきたいと思います。意見などは、議事録に残していきたいです。</p> |
| 小熊委員 | <p>プラスチック資源循環戦略委員会の中でも言われているのですが、私たちが出前講座でプラスチック製容器包装プラとプラスチック製品の分別をいろいろとお願いしているのですが、必ず質問されるのがプラスチック製容器包装プラとプラスチック製品の違いなのです。「なぜ、元が同じなのに一括で処理できないのですか。」、「燃やせばいいじゃないか。」、という方もいるのですが、それを「できるだけ分別して有効活用しましょう。」という説明をしているのですが、何か良い方法はないのですか。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>委員長</p> | <p>ごみについて考えるという中では、有料化の問題も抱えていますが、資源化のいろいろな仕組みづくりに関して、プラスチック問題も考えるポイントになっていますので、今の意見は重要なポイントです。今後、プラスチック製容器包装プラとプラスチック製品を一緒にリサイクルしていく仕組みなども考えることは重要だと思います。</p> <p>実は国でも、政令市の幾つかのところでモデル事業をしているのです。実際に集めてもらって、住民のアンケートを行い、「やはり一緒に集めたほうがいいのではないか。」というような意見が出ています。</p> <p>ただ、容器包装リサイクル法という飲料等の製造メーカーも費用も負担して収集している仕組みと、製品プラスチックの資源として無料で収集している仕組みを、どうすれば一緒にやっけていけるか、「容器リサイクルのプラスチックにはマークがついていますが、製品プラスチックは、どうマーキングしていくか。」という、そういう制度全体の話もあるので、観点を考慮しつつ議論は今後進んでいくと思いますから、「ごみについて考える。」という今後の検討材料の中で意識していければと思います。</p> <p>今の点も大変重要ですので、事務局のほうで今日の最終的な意見として、議事録に残しておきたいと思います。</p> |
| <p>津島委員</p> | <p>このマイクロプラスチックのことについては、私が以前に勤務していた会社が石油化学のメーカーで、マイクロプラスチックの問題は本当に厄介な問題ではないかと心配しています。最近は、「生分解性ポリマーであれば微生物によって完全に消費され自然的副産物だけになる。」ということで、「農業資材等は生分解性のものを使用していればいい。」というようなことが言われていますが、そういう生分解性ポリマーが増えてきて、それで分解してもマイクロプラスチックを経て最終的には分子領域で分解するものかもしれませんが、その害については、まだよく研究されていないところもあるので、そういう形で処理されたり放棄されるというのが一番心配なのです。この問題は、やはり国レベルでどうすればいいのかを、研究してほしいと思います。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>いろいろな意見、ありがとうございます。</p> <p>それでは、これまでいろいろな議論や意見など本当にありがとうございました。特に無いようでしたら、今日の意見も議事録に残し、かつ今後実行していく中で、あるいは最終的な細かい補足等も含めたチェックの中で対応させていただきたいと思います。基本的に「ごみ処理基本計画（案）」に関しては、承認いただいていたと考えていますが、よろしいですか。</p> <p>ありがとうございます。それでは、この内容で「ごみ処理基本計画」を確定したということで、印西地区環境整備事業組合の管理者に答申として返答することになります。</p> <p>それでは、議題（3）答申（案）について、事務局からご説明をお願いします。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 答申（案）について説明 |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>今、事務局から説明がありました答申（案）についてですが、何か意見質問などありますか。無いようですので、この内容で答申をしたいと思います。</p> <p>答申としては、説明であった内容に、委員名簿・審議内容7回・ごみ処理基本計画と、簡潔ですがまとめておりますものを、私から印西地区環境整備事業組合の管理者に、答申したいと思います。</p> <p>それでは、議題は全て終了しました。</p> <p>4月から、「印西地区ごみ処理基本計画」策定するまでの、真摯な審議・スムーズな議事進行に、協力いただきありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。</p> <p>委員長につきましては、4月よりこの「印西地区ごみ処理基本計画」策定まで7回の検討委員会の議事進行の方、ありがとうございました。</p> <p>また、検討委員の皆様におかれましても、4月より「印西地区ごみ処理基本計画」確定までのご審議ありがとうございました。</p> <p>以上で「印西地区ごみ処理基本計画」検討委員会を終了させていただきます。</p> |